


## 平成 29 年度 研究サマリー

研究会名称 次世代腎研究アカデミー

代表者所属 東京大学大学院医学系研究科腎臓内科学/内分泌病態学分野

代表者指名

あし さん 

### 研究方法・結果

本助成事業は個別の研究ではなく、日本の腎臓学全体の研究力の発展と向上を目指すものである。特に、若手研究者の発掘と育成を大きな目的としている。以下、概要を述べる。

### 研究会実施概要：

- 代表世話人：南学正臣（東京大学）、世話：和田隆志（金沢大学）、西山 成（香川大学）、会計責任者：中野大介（香川大学）
- 次世代腎研究アカデミーと中外製薬株式会社との共催にて、2014 年より年 1 回開催（5 年ごとの見直し予定）、2017 年は 8 月 19 日経団連会館にて実施
- 全国の若手・中堅腎臓研究者 51（2017 年現在）名を会員とし、各会員の紹介による若手研究者を准会員とする
- 例年、その他招聘者も含め 150 名規模の研究会を実施
- 若手のグローバル化のため使用言語は英語とし、日本語は一切使用しない
- 将来、海外研究を望む若手研究者から研究成果発表を募り、発表と質疑応答を実施（例年約 5 名）
- 海外留学中の日本人腎臓研究者を招聘し（例年約 5 名）、研究紹介と質疑応答の実施
- 著明な外国人腎臓研究者 1 名を招聘し、基調講演を実施
- 上記研究会の計画、準備（演題募集、留学中研究者の推薦依頼・参加調整など）、参加者への研究会概要の周知、海外からの招聘者への交通費支払い、懇親会計画、アンケート実施などの事務業務を行うため、事務局を香川大学医学部薬理学に設置して運営

### 研究成果

毎年、英語による活発な発表・質疑応答が行われ、急速に腎臓研究者のグローバル化が進み、以下の成果を得ている。

- 日本より 2 名の国際腎臓学会理事の選出
- 日本より Asian Pacific Society of Nephrology の理事長選出
- 国際腎臓学会シンポジウム ISN Frontiers meeting の東京での実施決定（2018 年 2 月）
- 本会の会員のほぼ全員が ISN Frontiers meeting の local committee member に就任